



2024 SUPER FORMULA Rd.1
2024.03.09-10 SUZUKA CIRCUIT



はじめに

長いオフシーズンを経て、ついに2024年シーズンの開幕を迎えました。改めまして、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

初優勝という最高の締めくくりで終えることの出来た2023年から、今年度はチャンピオンを獲得するという明確な目標を立て、オフシーズンのテストに臨んできました。ルーキーイヤーで学んだことと、新しい一年に向けて行なってきた準備によって開幕戦を大きな自信を持って挑むことができました。

公式練習

開幕戦が3月というのは、昨シーズンよりも1ヶ月ほど早く、低い気温への適応が各チームに求められましたが、オフシーズンテストと同じような気候であったため大きな不安なく持ち込みセットを決めることができました。細かな調整を行いながらセッションを進めて行きましたが、順位以上に手応えを感じており予選でいい結果を期待できるような公式練習になりました。個人的には、最近苦手意識のあったセクター4が改善傾向にあったので、開幕前に徹底的に分析してきて良かったと感じています。

予選 Q1A(1位) Q2(2位)

自信を持って臨んだ予選セッションはQ1、Q2ともに先頭でアタックを開始しました。Q1は絶対にミスをしないように、堅実な走りを心がけましたが、マシンのフィーリングもよくトップで通過することができました。昨年はQ1をトップで通過した際に、Q2へのアジャストが消極的になりすぎて失敗した経験があったので、セットアップもキープではなく少し変化を施してQ2を待ちました。Q2は昨年の最終戦も含めた最近の鈴鹿で最も決まった1周にすることができ、ポールを獲得できたのではないかと思います。トヨタの1台に先行を許し2番手となりました。ポールを取れなかった悔しさは大きかったです。昨年の最終戦と同様のフロントローを獲得でき良かったです。

公式練習2(4位)

決勝前に行われる公式練習2回目は、予選セットからレースセットへの変更を施してロングランの確認を行いました。テストではロングランをすることができなかったため、少し不安はありましたが、チームと準備したレースセットはフィーリングがよくいいペースで走ることができたので決勝への期待が膨らむセッションとなりました。





決勝(4位)

FP2でのペースがよく、逆にポールの選手のペースが悪かったことから決勝はスタートで前に出れば優勝は十分狙えると考えていました。しかし、レース前のスタート練習ではクラッチの数値とスタートのフィーリングが安定せず、不安を抱えたままグリッドにつきました。ギリギリまでエンジニアと合わせ込みを行いましたが、結果的にスタートで出遅れる形になり、序盤で8番手までポジションを失ってしまいました。

しかしながら、そこからチェッカーまでに4ポジションを戻して4位でレースを終えることができました。決勝のレースペース、ピット後のアウトラップ、そして他車との接近戦の全てを力強く行えたと思っておりますが、その分、スタートさえうまくいっていれば勝てたはずだという気持ちが大きく悔しいです。

おわりに

ついに開幕した2024年のSUPER FORMULAの初戦は昨シーズンの好調を維持できているという安堵の気持ちと、勝てたはずなのに勝てなかったという悔しい気持ちの両方が残る一戦となりました。ただ、チャンピオンをとりに行くというシーズン目標を考えた時には、この結果は決して悪くないと思いますし、引き続きチームと精進して行きたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。





KAKUNOSHIN OHTA RACE REPORT

2024 SUPER FORMULA Rd.1

2024.03.09-10 SUZUKA CIRCUIT



HONDA

